

専大スポーツ

No.2609

「専修大学」体育会ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html



（撮影・佐山）

サッカー部

体育会各々は夏季休暇を利用して、9月から始まるリーグ戦に向けたトレーニングに励んでいる。ここに紹介する4部のほか、各部も秋の大会に向け、厳しい練習に耐えている。体育会ホームページで大会日程を確認し、応援に出かけてほしい。

「秋季リーグ戦」展望

（撮影・佐山）

とも波に乗り

関東大学サッカーリーグ戦（後期）が9月6日から再開する（日程はホームページ参照）。前期を3勝4敗4分・勝ち点13の6位で折り返した専大。3位から8位までが勝ち点6差と混戦しており、1試合で順位が大きく変わる。この夏の練習で、ぜひ自分たちのプレーを心

から再開する（日程はホームページ参照）。前期を3勝4敗4分・勝ち点13の6位で折り返した専大。3位から8位までが勝ち点6差と混戦しており、1試合で順位が大きく変わる。この夏の練習で、ぜひ自分たちのプレーを心

関東大学アメリカンフットボールリーグ戦 Aブロック日程

9月	7日(日)	専大	一橋大	10:30	川崎球場
	20日(土)	専大	一慶大	13:15	川崎球場
	27日(土)	専大	一早大	16:30	アミノバイタルフィールド
10月	12日(日)	専大	一日大	16:30	アミノバイタルフィールド
	26日(日)	専大	一東海大	16:30	アミノバイタルフィールド

*9、10月分のみ掲載

（馬場 雄也・ネットワイク情報）

野球部

東都大学野球春季リ

が、決勝まで、立ち合いから思い切りよく右を差していった。予選を勝ち上がり、8強による決勝トーナメント1回戦も足取りで制すと、歓声が沸き起こった。準決勝も日大・工藤を引き落としで下したが、決勝戦はまわしを取れず、日大・和手慶に敗れた。

「すごくうれしい。今日は体もよく動いた。5月の新人戦は、高校からのライバルに敗れ、とても悔しかった。今日は頑張れたと思う。今後も、一戦一戦を大事にして、思い切りよくいきたい」と語った。また、父でもある蒲田監督は「今大会は立ち合いで恐れず、積極的に右を取りに行くことができた。これで部全体が盛り上がり、優勝を果した」と笑顔で話した。（松本 かおり・文3）

アメリカンフットボール部

けが人が多く、苦しんだ春季オープン戦。しかし、ほとんどの選手の傷が癒えた。「フットボールの練習の成果が始め、選手の手意識も向上してきた。春に1年次生も経験を持ち、リーグ戦は自信を持って臨む」と平野恭雄監督。片山真明主将は「4・日体（原高）はフットボールに加え、スピードも付いてきた。狙うはもちろん優勝」と語った。（新海 城生・経済4）

東都大学野球秋季リーグ戦（2部）日程

9月	8日(月)	駒大	専大	10:00	
	9日(火)	専大	一駒大	12:30	
	16日(火)	東農大	専大	10:00	
	17日(水)	専大	一東農大	12:30	
	29日(月)	拓大	専大	12:30	
	30日(火)	専大	一拓大	10:00	
10月	6日(月)	国士大	専大	12:30	
	7日(火)	専大	一國士大	10:00	
	20日(月)	専大	一國學大	12:30	
	21日(火)	國學大	専大	10:00	

◇神宮第2球場で開催
 ◇雨天、その他は順延
 ◇神宮テレホンサービス ☎03(3401)8770
 ※東都大学野球連盟ホームページ
<http://www.tohto-bbl.com/>

関東大学ラグビーリーグ戦（2部）日程

9月	21日(日)	専大	一国際武道大	12:00	日大グラウンド
	28日(日)	専大	一国土大	12:00	拓大グラウンド
10月	12日(日)	専大	一東洋大	12:00	国士大グラウンド
	19日(日)	専大	一防衛大	12:00	トヨタ府中グラウンド

*9、10月分のみ掲載



（撮影・庄司）



（撮影・植木）



（撮影・森住）



（撮影・山中）



▲ 念願の表彰台に立った平川（右）

世界ジュニアレスリング 8月3日まで、トルコ・イスタンブールで行われた。グレコローマンスタイル120kg級で平川巨一（商3・三井高）が、フリースタイル120kg級で荒木田進謙（経済3・光星学院高）がともに銅メダルを獲得した。平川は2回戦から出場し、1ピリオドも落とすことなく勝ち進んだが、準決勝で敗退。しかし、3位決定戦では第1ピリオドでフォール勝ちを収めた。「3位決定戦で対戦したラト・ラモノフ（キルギス）とは普段から会話をし、一緒に練習をしていたので、やりづら部分もあったが、勝つことができてうれしい。今後とも良い成績を残したい。」（庄司 亮介・文2）

荒木田も同じく2回戦から出場し、2、3回戦を順調に突破。準決勝でフォール負けを喫したが、続く3位決定戦ではジャック・クレイトン（米国）を2-1で破り、3位入賞を果たした。

平川、荒木田が銅メダル

レスリング・世界ジュニア選手権

せるよう頑張りたい」と話した。

相撲・東日本学生個人体重別選手権 <115kg未満級> 1年次生大健闘

蒲田が準優勝

「すごくうれしい。今日は体もよく動いた。5月の新人戦は、高校からのライバルに敗れ、とても悔しかった。今日は頑張れたと思う。今後も、一戦一戦を大事にして、思い切りよくいきたい」と語った。また、父でもある蒲田監督は「今大会は立ち合いで恐れず、積極的に右を取りに行くことができた。これで部全体が盛り上がり、優勝を果した」と笑顔で話した。（松本 かおり・文3）



▲ 立ち合いから右を狙っていった（撮影・松本）

フェンシング・東京都選手権

女子サーブル 長井が3位

フェンシングの東京都選手権が6月21日から7月13日まで、東京厚生年金スポーツセンターで行われ、女子サーブルで長井有理（法3・水）が3位に入賞した。個人選手権も参加する中、予選リーグを全勝で突破。決勝トーナメントで長井有理（法3・水）が3位に入賞した。

ラグビー部

まずは初戦を制することだが、後半にある立正、埼玉工業、山梨学院との対戦で1つでも多くの勝ち星を挙げることが、6年ぶりの1部復帰の力ぎとなる。榎本邦夫監督は「夏合宿では、スピードとパワー両面の強化をはかりたい」と語った。（松本）

国際大会 出場選手

◇相撲部
 相坂 卓（経営4・三本木農高）ブラジル連邦共和国派遣日本武道代表团（11月5〜12日）
 〓ブラジル・サンパウロ）
 ◇卓球部
 杉本 枝穂（文4・青森山田高）韓国・日本大学生卓球交流戦（8月25〜29日）
 〓韓国・釜山）

ONE DAY TEAMMATE

大学生のパワー・スピード・テクニックを体感

体育会各々が地域貢献活動の一環として行っている「ONE DAY TEAMMATE 2008」が7月から開催されている。3年目の今年は幅広い年齢層を対象に、17のスポーツ教室を開講。参加者からは「大学生の人はスピードもあってビックリ！」（12歳）、「良い汗を楽しく、たっぷりかかれました」（52歳）、保護者からも「教え方が上手で、3歳児には長い時間なのに、楽しく参加できていました」などの感想が寄せられた。



▲ ハンドボール交流会（撮影・馬場）